

## 第三章 連携・協働による事業推進

### 1) 計画づくりへの市民参加

#### ■ネーミングの公募

世界の金シャチ横丁（仮称）のネーミングを広く市民などから公募するとともに、その経緯を広く情報発信し、市民の愛着の醸成を進めていきます。

#### ■計画づくりからの参加

計画づくりにあたっては、パブリックコメントや市民参加型のシンポジウムなどを通して市民の声を傾聴し、適切に事業展開に反映させていきます。

こうした取り組みを通じ、市民の事業への理解と関心を深め、より一層の魅力向上に努めます。

### 2) 事業への市民・企業の参加

#### ■歴史文化に根ざした活動の場の提供

名古屋では、長い歴史の中で培われてきた歴史文化を保存・継承するべく、市民活動グループや個々の市民による様々な活動が広く行われています。

世界の金シャチ横丁（仮称）では、その発表・展示の場を提供し、尾張名古屋の歴史文化にふれることのできる拠点、歴史文化の継承の拠点として、さらなる市民等による活動を促進していきます。

市民活動の発表・展示にあたっては、適宜専門家によるコーディネートを図るなど、その成果をより効果的に演出するための支援を行います。

また大学等と連携を図り、インターンシッププログラム活動の場に向けても検討していきます。



## ■観光や人の繋がりを支える交流の場の提供

美濃・三河・信濃には尾張藩が治めた地域もあり、江戸時代より名古屋との深い関わりの中で文化が形成されてきました。その文化は今もなお各地域で継承され、伝統芸能や魅力ある特産品といった形で残っています。

世界の金シャチ横丁（仮称）では、名古屋との関わりのある地域の伝統芸能や特産品などに関する情報の発信、定期的な地域物産展の開催など、地域と地域、人と人との交流の場となるような取り組みを進めていきます。

また、名古屋城は多くの外国人が訪れる観光地であり、彼らのニーズに対応できるコンシェルジュ機能の充実も目指していきます。

## ■季節やイベントにあわせた多様な出店形態の工夫

世界の金シャチ横丁（仮称）では、常設の店舗以外に観光・行楽シーズンや各種イベント開催時にあわせて、事業者や市民グループなどが期間限定で出店できるような仕組みづくりを行います。

期間限定の出店は、常設店舗よりもリスクを軽減でき気軽に出店できるようになるほか、来城者の方々に新鮮味溢れるサービスを常に提供できるといった利点もあります。

## ■多目的空間の創出

施設や空間整備にあたっては、特定の目的に特化した恒久的な施設整備を必要最小限に留め、時代のニーズに応じた多様な利用ができる構造とします。

これにより、施設整備費や恒常的な維持管理経費の縮減を図るとともに、長期にわたる施設の有効活用を図っていきます。